

BULLETIN

Kanuma

特別号



2004 NO.62



鹿沼カントリー倶楽部



『会員の皆様と共に!!』

理事長

櫻井 勝一

会員の皆様、お元気にお過ごしのことと思います。

今年の梅雨は、記録的な暑さに見舞われ、体調を崩された方も多いのでは無いかと推察いたします。

このような時こそ好きなゴルフで体力をつけ、暑さを吹き飛ばしたいものです。其の好きなゴルフが、出来なくなるとは大変です。

皆様も既にご承知の通り、此の度、鹿沼カントリー倶楽部が民事再生法を申請いたしました。

会員の皆様には、青天の霹靂のように感じられたことでしょうか。誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

この再生法が成立するか否かは、9月上旬頃に裁判所の方から賛否を問う用紙が、皆様のお手元へ配付されるはずであります。

その際、是非賛成の方に投票していただきたく、お願い申し上げます。会員の半分以上の賛成がなければなりません。若し、否決されますと、破産ということになります。

そうしますと、外資系の資本に渡り会員本来のゴルフ場ではなく、パブリックゴルフ場に移行するものと思われれます。

そうならない為にも、会員が救われる、今回の民事再生法が最良の方法であったのではないかとと思われれます。

若し、賛成が得られなければ大変な事態が考えられますので、私はじめ理事会の皆様も、新スタッフと共に鹿沼カントリー倶楽部の再生に向け、是が非でも努力して参

りたいと思います。

何卒、鹿沼カントリー倶楽部を愛する会員の皆様方にも、ご協力賜りたくお願い申し上げます。

当倶楽部は昭和39年10月にオープンし、今年で開場40年を迎える伝統あるゴルフ場です。その間、皆様には色々と楽しい思い出が、沢山詰まっていることでしょう。

鹿沼カントリー倶楽部の良さは交通の便の良さもさることながら、コースが非常に良く管理され、グリーンの手入れも万全ですので、多くの会員の皆様よりご好評をいただいております。

又、四季を彩る草花等が楽しめ、風景も北に男体の雄姿、冬は南に富士山も見えると云う、立地条件にも恵まれています。このようなところでゴルフが出来る会員は、非常に幸せだと思います。

どうか皆様、多くの会員より再生計画案に賛成いただき再建できれば、本当の意味でのメンバーシップ（会員主体）のゴルフ場として生まれ変わるはずであります。

私も一会員として、今後とも鹿沼カントリー倶楽部で充実したプレーを、気の合った仲間と共に生涯ゴルフを楽しみたいと思います。

皆様も是非、楽しいゴルフを何時までも続けて下さい。

鹿沼カントリー倶楽部の首脳陣はじめ従業員一同も再建に向け、必死になって頑張っております。どうか宜しくご声援とご協力の程、伏してお願い申し上げます。

会員様と共に歩む鹿沼CCを目指して

■鹿沼CCは会員様主体の倶楽部運営を行うことをお約束いたします。既に、下記具体策を実施しております。

・快適なプレーのため、土・日・祝日の組数を制限し、昼の待ち時間を短縮いたしました。

→土・日・祝日の待ち時間は既に1時間10分程度にて実施しております。

・プレーのご予約は、会員様最優先で受付を実施しております。

・予約電話を円滑にするため、予約回線を増設いたしました。

→土・日・祝日の予約について、お電話も掛かりやすくなっております。

・10月より、会員様とゲストの料金格差（特に土・日・祝日）を拡大することを決定しています。

→会員様同伴ゲスト料金も用意してございます。

～是非とも、ご来場いただけますようお願い申し上げます～

■下記の施策も随時実施していく予定でございます。

i. 会員名簿の発行

再生計画案のご承認をいただきました後に、会員名簿の発行を予定しております。

ii. コースメンテナンスの充実

更なるコース品質の向上に努めて参ります。

将来的には北コースへの乗用カート導入や2ベントグリーン工事も検討致します。

《開場40周年記念 抽選会のご案内》

“開場40周年”を記念して、来る9月20日(祝)に来場される会員の方に対し、抽選により賞品をプレゼントいたします。

特製オリジナル賞品をご用意いたしておりますので、多数の方々のご来場をお待ちしております。



『我が“鹿沼”に想う！』

会員 神谷 恭 輔

思い起こせば、私と鹿沼カントリー倶楽部との出会いは、海外赴任から帰国した22年前でした。ある日の社内での昼休み、当倶楽部のメンバー達がゴルフ談義に花を咲かせていました。

私も父の影響で早くからゴルフを始めていましたので、後日、誘われるまま当倶楽部へ連れられて来ましたが、一度でコースレイアウト、コースコンディションの良さにほれ込み、即、会員となりました。

当時を振り返ると、東北自動車道も全線開通しておらず、朝の6時30分前に川口市を通過しないと渋滞にはまるなどの関係で、朝は自宅を5時に出発。2時間30分の道のりであったが「遠くて大変だ！」と思ったことは一度もなく、行き帰りの車中はお決まりのゴルフ談義。

何時でも往きは今日のプレーでの好成績を密かに期待（実力以上の？）するが、帰りの車中では必ずタラ、レバの反省で盛り上がり、時間が経つのを忘れ、最後は次回に期待を持ち越し家路に着いていました。そんな仲間も徐々に増え、今では上は70歳代から下は30歳まで総勢25名を越える大所帯となっています。

しかし今回は、民事再生の申請という予期せぬ事態に仲間一同驚いている次第ですが、私自身が歩んできた人生の中でもこの鹿沼カントリー倶楽部と出会ったことにより、様々な想いが数知れずあります。また、今後もまだまだ仲間たちとこの愛する“鹿沼”で、これからも良き思い出を築き上げていきたいと思っております。

最後に、鹿沼カントリー倶楽部がこの難題を乗り越え、自主再建への一助が成せるようこれからも微力ながらも応援していきたいと思っております。皆様、一致団結して頑張りましょう。

再生推進室からのお知らせ

この度の民事再生申立につきましては、会員の皆様に大変なご迷惑とご心配をお掛けいたし深くお詫び申し上げます。また、再生債権届出書のご提出等民事再生手続へのご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社におきましては、会員の皆様方にご支持いただけるゴルフ場としての再生を目指し、透明性の確保と会員の皆様方のプレー権を保障させていただくとの基本方針のもとに、現在「民事再生計画案」を鋭意策定中でございます。会員の皆様には、9月上旬頃にご提示させていただく予定でございます。

「民事再生計画案」がお手元に届きました折には、ご覧頂きまして、是非ともご賛成の投票を頂きたくお願い申し上げます。

新スタッフ紹介



支配人 秋澤 久

6月16日付で鹿沼72カントリークラブより転任いたしました、秋澤と申します。

会員の皆様には、日頃よりご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また、この度の民事再生申し立てにより、会員の皆様には多大のご迷惑をお掛けいたしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

ただ今、再生に向け全社員が一丸となり努力しているところであります。

会報の中にもお知らせいたしておりますが、当倶楽部では「会員の皆様に楽しい一日を提供し、喜んでお帰りいただく」ために一人一人の社員がサービスの向上に努め、心のこもった接客をしていくことを第一に考えております。

現在、会員様への優遇策として、平日割引クーポンの発行、プレー代割引の実施。さらに、従来の全来場者を対象とした昼食サービスデーも継続してまいります。

土・日運営体制も改善、組数の制限によりお昼の待ち時間を短縮。また、土・日の予約の取り方も従来より一層取りやすくなりました。何よりも会員様に感動していただき、“また来たい”と思っただけのために全力を尽くして頑張りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。コースも緑一面最高の状態です。会員の皆様のご来場を心よりお待ちしております。



営業マネージャー 長谷川 利雄

新しく、営業マネージャーとして着任いたしました長谷川利雄と申します。

再生中の6月に大幅なスタッフ異動があり、会員様の中にはご心配、ご不安をお持ちの方が多くいらっしゃると思います。

しかし私は、スタッフ組織を一新し、心機一転を図り、より一層サービスの向上を達成すれば、多くの会員様から御支持をいただけるものと考えておりますので、何卒ご理解いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

「以前より、よくなったネ!」と会員の皆様におっしゃっていただけるよう、スタッフ全員如何なるポジションにも関係なく“お客様を第一に考え”、一生懸命に接客してまいりますので、今後とも相変わらずのご指導、ご鞭撻の程、伏してお願い申し上げます。

